

## 2 ニホンイシガメ

(イシガメ科)

兵庫県ランク:C

*Mauremys japonica*

環境省ランク:NT

## 種の概要

日本の固有種で本州、四国、九州に分布。甲長は14~21cm程度で、雌の方が大きい。背甲は褐色ないし茶色で、腹甲は黒色。頸部側面は暗色で、不明瞭な茶色の縦条がはしる。幼若個体では、後部の縁甲板は鋸歯状だが、成長とともに鈍くなる。雑食性。繁殖期は5~8月で、水中で交尾し、水辺の土中に回転楕円体の卵を数個から十数個産む。



写真提供: 庄子 恭平

## 県内における生息状況及びその他特記事項

本土部の瀬戸内海側に開口するいくつかの河川の中には、上流の山間部を中心に比較的多く見られるものもあるが、そうした河川でも下流部や周辺の水路、ため池などには少ない。また日本海側の河川でも、本種の確認される場所は比較的少ない。いっぽう淡路島では、多くのため池で、比較的普通に見られる。特に近年では、クサガメとの雑種個体の出現が目立つ。

## 保護上の留意点

春から秋にかけて餌となる昆虫や陸貝、ミミズといった小動物が豊富で、かつ餌や、日光浴・産卵に適した場所をめぐり競合関係となるミシシッピアカミミガメ、クサガメといった外来種のいない陸水環境の確保が重要。加えて近年では、商業目的での野生個体の捕獲の影響も強く懸念されており、こうした行為の規制、監視も必要である。

## 県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、加古川市、西脇市、小野市、加東市、多可町、姫路市、赤穂市、宍粟市、たつの市、市川町、神河町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】太田 英利

## 主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	○
	遺伝	○
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	

